学校番号	2001

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	2･3 単位	年次	３年次
使用教科書	「現代文Ｂ」（教育出版）						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧」（大修館） 「漢字マイスター　頻出漢字熟語 3000」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な分野・表現形態の作品を広く学び、知識を深め、「読む能力」を向上させましょう。
・コミュニケーションのための「話す能力」「聞く能力」や、要約・意見文等の「書く能力」を身に付けるため、積極的に課題に取り組み、練習を重ねる。
・本文通読・語句の意味調べ等の予習を欠かさず、授業では気づいたことや疑問点等書き込んだノート作りを心がけ、ひとりで復習しやすいようにする。
・課題・提出物は、期限を守って正確なものを出せるようにしましょう。定期考査はもちろん、課されたものを日々きちんとこなしていくための学習計画を立てる。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解し、表現することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	小説一	教材 「アルプスの少女」	○		◎	◎	○	a:小説のテーマや寓意に興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 c：内容を理解し、それに関する自分の考えを説得力のある展開で書いている。 d:各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。本文と『アルプスの少女ハイジ』の関係性を読み取っている。 e:読解に必要な知識が整理できている。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート
	評論一	教材 「地図の想像力」	○	○		◎	○	a:本文の内容を読解することで、自分自身について見つめ、考えようとしている。 b:表現の構造を理解し、主張をわかりやすくまとめている。 d:「テクストとしての地図」という筆者のとらえ方を読み取っている。 e:評論の構造と読解に必要な知識が整理できている。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート
	評論四	教材 「文学のふるさと」	○	○		◎	○	a:文学の意義についてさらに思索を深めようとしている。 b:筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめている。 d:本文中に出てくる例を読解し、理解を深めている。 e:評論読解に必要な実践的用語についての知識がある。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート

二学期	評論二	教材 「欲望と資本主義」	○		◎	◎	○	a:本文の内容に興味を持ち、構成や論理の展開に注意して主張を読み取ろうとしている。 c：表現の構造を理解し、主張をわかりやすくまとめている。 d:文章の構成を理解し、論理の展開を把握し、筆者の主張を理解している。 e:読解に必要な基礎的な語句に関する知識がある。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート
	評論三	教材 「民話と幻想」	○		◎	◎	○	a：筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。 c: 個々の段落の働きと展開を意識しながら，文章を書いている。 d:抽象的な表現について、筆者の論理展開に注意しながら，文章の内容を読み取っている。 e:新出語句の予習をし、カタカナ語の語彙や知識を増やしている。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート
	小説二	教材 「おどる男」	○		◎	◎	○	a:遠い時代の出来事である敗戦直後の日本について主体的に理解しようとしている。 c:作品を通して考えたことを、自分の言葉でまとめている。 d:人物・心情・情景を読み取っている。 e:なじみの薄い語句の意味を、注釈や辞書を参考に正しく理解している。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート

三学期	評論四	教材 「〈私〉はどこへ行く？」	○	○		◎	○	a:筆者が考える現代社会における「私」の位置づけを通じて、「自己」について思索を深めようとしている。 b:筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめている。 d:デジタル時代における「私」とは何かについて理解を深めている。 e:評論読解に必要な実践的用語についての知識がある。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート
	小説三	教材 「俘虜記」	○	◎	○	○	◎	a:登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。近代文学に興味を持って取り組んでいる。 b：作品のテーマや感想などを積極的に発表している。 c:自分の考えを論理的にまとめている。 d:あらすじ・場面の展開を正しくとらえ、主人公の心情の推移を理解している。作品の主題について自分の考えを深めている。 e:日本近代史の流れをおおまかに理解し、作者についての知識を深めている。	a:観察・自己評価 b: ノート・自己評価・相互評価 c:ノート・自己評価 d:行動の観察・ノート定期考査 e:観察・ノート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。